

大学生等、成人に対する交通安全教育の内容について

【目的】 自動車教習所において、免許取得時に自動車等の運転に関する基本的な交通安全教育が行われるが、初心運転者については、正しい運転の技能及び知識が定着しているとは限らない。また、それ以外の運転者についても、自動車教習所で習得した技能及び知識から逸脱した運転方法が身に付いてしまうことがある。 このため、運転者に安全運転に必要な技能及び知識の理解を深めさせるとともに、交通社会の一員として自己の安全のみならず、他者及び社会の安全に自主的に貢献することができる運転者へと育成することを目的とする。						
項目	1 運転に関する基本的事項の教育	2 危険の予測と回避	3 状況に応じた運転能力の向上	4 安全運転に必要な科学的知識の習得	5 運転適性指導及び運転技能指導	6 歩行者等に対する交通安全教育
目標	自動車を安全に運転するために必要な基本的事項を再確認し、技能及び知識の定着を図るようにする。	道路における危険を予測し、危険回避する意識及び能力を向上させる。 また、歩行者・自転車の利用者・二輪車の運転者等の特性を理解できるようにする。	夜間の運転、雨、雪、霧等の悪天候時の運転、高速道路での運転等、様々な状況下における運転に必要な能力を向上させるようにする。	自動車等を安全に運転するために必要な科学的知識について、理解を深めるようにする。	運転者に運転適性及び運転技能を客観的に把握させるとともに、運転適性の類型ごとに特徴的な交通事故について理解させ、運転態度及び技能の改善を図るようにする。	道路を通行する一人一人が交通ルールを守り、交通マナーを実践する必要があることを再確認させる。 また、免許取得者は、自動車等を運転する場合に歩行者等の特性を踏まえて安全に運転ができるようにする。
内容	①自動車の点検 ②シートベルトの着用及びチャイルドシートの使用 ③交通事故及び故障の場合の措置 ④交通事故の発生状況等の情報提供	①具体的な場面を設定して行う危険の予測と回避 ②道路を通行する歩行者、自転車の利用者、二輪車の運転者等の特性（交差点における右左折時の事故、交差点における出会い頭の事故等） ③急ブレーキ	①夜間の運転（夜間における道路及び交通の状況、蒸発現象、眩惑） ②雨天時、雪道、霧の場合、高速道路での運転（制動距離、横滑りの危険性、ハイドロプレーイング現象、十分な車間距離の確保等）	①運転者の性格と運転の関係 ②人間の生理と運転との関係（錯覚等の視覚の特性、飲酒等の身体機能への影響等） ③自動車に働く自然の力（摩擦力、遠心力等） ④交通事故の発生原因等（交通事故事例による原因、交通事故防止施策の説明）	①運転適正指導（運転適性検査機材を使用） ②運転技能指導（道路又は道路外のコースを走行、運転シミュレーターを使用）	①歩行者の心得（反射材の効果、幼児・児童・高齢者・目の見えない人及び身体の不自由な人の保護） ②自転車利用者の心得（歩道、路側帯等を通行する場合の歩行者に対する配慮、交通事故により生じた損害を賠償するための保険等への加入の必要性） ③自動車等に関して知っておくべき事項（自動車等の特性及び合図等）

高齢者に対する交通安全教育の内容について

【目的】 高齢者は、加齢に伴い身体機能が変化し、道路を安全に通行する行動ができない場合がある。 また、免許を受けておらず、交通安全教育の経験がない高齢者も多い。 このため、加齢による身体機能の変化が道路における運転行動に及ぼす影響を理解させるとともに、交通ルールを守り、交通マナーを実践することの必要性について理解を深め、安全に道路を通行することができるようにするを目的とする。				
項目	1 道路の歩行と横断	2 自転車の安全な利用	3 自動車等の特性と心得	4 家族等の理解と協力
目標	加齢に伴う身体機能の変化を踏まえ、体力等に応じて道路を通行する等、歩行者として安全に道路を通行するために必要な事項を理解できるようにする。	加齢による身体機能の変化が自転車の乗り方に及ぼす影響について理解できるようにする。 また、自転車を安全に利用するために、交通ルールを守り、交通マナーを実践しなければならないことを理解できるようにする。	加齢による身体機能の変化に応じて自動車を安全に運転するために必要な技能及び知識を習得できるようにする。 また、自動車等の基本的な特性等を学ぶことにより、歩行者等として自動車等の動きを予測し、危険を回避して安全に道路を通行することができるようにする。	加齢による身体機能の変化が行動に及ぼす影響や、家族等が日頃から交通安全意識を高めるような話題を提供したり高齢者が外出する場合に声かけを行うこと等を理解できるようにする。
内容	①交通ルールの遵守 ②加齢に伴う身体機能の変化が歩行に及ぼす影響 ③安全に道路を通行するために習得すべき事項 ④道路横断時等の安全確認 ⑤夕暮れ・夜間における明るい色の服装や反射材の着用	①交通ルールの遵守及び交通マナーの実践並びに安全確認 ②加齢に伴う身体機能の変化が自転車の走行に及ぼす影響 ③安全に自転車に乗るために習得すべき事項 ④自転車保険等への加入の必要性 ⑤自転車の点検・整備	①交通ルールの遵守と安全確認 ②シートベルトの正しい着用 ③運転適正指導及び運転技能指導等の実施 ④高齢運転者標識（高齢運転者マーク） ⑤運転免許証の自主返納の検討 ⑥自動車等と歩行者等の間で発生した交通事故事例の学習	①高齢歩行者が安全に道路を通行するために必要な事項 ②高齢者が安全に自転車を利用するために必要な事項 ③高齢の運転者の安全を確保するために必要な事項 ④高齢者が交通事故のあった場合の措置